

第 15 回高等学校改革プラン推進委員会（第二推進委員会）議事録

1 日時 平成 17 年 12 月 28 日（水）午前 9 時 00 分～午後 12 時 00 分

2 場所 上田市中心公民館 3 階大ホール

3 出席委員

飯島 俊勝委員長	荻原 拓次委員
佐藤 元太郎副委員長	宮阪 義彦委員
芹澤 勤委員	滝澤 清登委員
遠山 順孝委員	中沢 裕委員
小林 将喜委員	西村 廣一委員
太田 節委員	市川 久由委員
和泉 碩也委員	原 貞次郎委員

4 開会

【9 時 00 分から 11 時 30 分までは、非公開審議につき省略】

（飯島委員長）

それでは、第 15 回の委員会を開催させていただきます。今回は、前半 2 時間半を非公開という形で開催させていただきました。それにつきましては、前回委員会で委員の皆さまのご了解を得て、より前向きに検討しようということで、開催をさせていただいたわけがあります。

特にこの時期に議論をより濃くするために、校名を出して議論をしなければならない、そんな判断からです。しかし、この時期に校名を出してしまいますと、たとえ議論の中であっても在校生、あるいはそこを目指す受験生に対して大変迷惑がかかるということで、苦渋の選択で非公開とさせていただきました。その点、各方面からいろいろなご意見やご批判をいただきましたがご了解をいただきたいと思います。そういう中で、9 時から非公開で委員会を開かせていただきました。この経過について、ご説明をさせていただきます。

前回、対案である望月高校の多部制・単位制について議論は進み、取りあえず利便性を考えて、対案としては難しいだろうというある程度の合意をいただきました。それを受けて今日、引き続きその話をさせていただきました。望月高校の教育プラットフォーム等、非常に評価する点があるわけですが、やはり利便性とこれからの望月地域に住んでいる子どもの出生率、あるいは今いる子どもたちの数から言うと、この地域に蓼科、望月 2 校が存続するのは、長い目でみると難しいだろう。でき得れば両校が統合して、地域に根差した、より良い魅力ある高校というものにしていく方が、地域のためにもなるのではないかとということで、統合をする形で意見の合意を得ました。これについては、両校の地域性、学校の意向も十分汲んで、県教委の強いリーダーシップのもとに統合をしてほしいということでもあります。

次に、野沢南高校の多部制・単位制を含めての話に入りました。いろいろ議論が出ました。特に委員の皆さんからは、学校名も出していただきながら多部制・単位制にするには、どの学校がいいだろうかという意見が、幾つか出ました。しかし今日の時点では、多部制・

単位制に転換する学校は、「この学校がよい」という結論を見ませんでした。ただ意見の中の一つに、子どもたちの減少傾向は急速にくるものではないものですから、ここ何年かをみながら、軟着陸もどうだろうという話もでした。

しかし、これは前々回の委員会でも検討を見ましておりますように、この東信地区に多部制・単位制を設置するということは再度、確認をいたしました。ですからどこをこれから、多部制・単位制に転換するのか、その点は次回以降、限られた委員会の開催であろうかと思いますが、その中でよりまた、議論を深めてそれ相応の報告ができるようにしてまいりたいという意向であります。

以上が、非公開の中で討論された内容であります。傍聴の皆さんにおかれましては、ご了解をいただきたいと思います。

なお、今日はこの後、委員会を続けるという考えもございましたが、何人かの学校の先生方が終業式その他という形で、退席せざるを得ない状況にあるものですから、もし委員の皆さんの中で、この後こんな議論はしておいたらどうかというお話がなければ、今日の委員会はここまでとさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

（荻原委員）

ひとつ県教委が今後のスケジュールの関係でお願いしたいと思います。先ほど来、19年実施するには1月中旬でもお話がありました。

それはやはり、県会で条例案として提出する部分と、しない部分と関わるのではないかと伺っております。それについては、どういうスケジュールでやっていかれるのか、その一点と、もうひとつは、われわれ委員会に対しては、要請書、申し入れ、声明、白紙撤回、決議文、提案と、いろいろなものが来ております。私どもは、それぞれ読んでおりますが、これは県教委に対しても同じ、そういった文面は届いているのかどうか。それで県教委はそれに対して、お返事なり、討議なりをしていらっしゃるのかどうか、その2点をちょっとお伺いしたいと思います。よろしくお願いします。

（飯島委員長）

わかりました。

今後のスケジュールの点と、それぞれ要望や陳情、その他が出ておりますが、その取り扱いはどういうふうに県教委はしているのかという2点をお願いします。

（柳澤教育主幹）

はい。今の1点目のスケジュールの問題でございますが、これも推進委員会の中で、何回かお答えしていることの繰り返しになるかも知れませんが、第1回目の推進委員会にお願いしました検討依頼事項、そしてまたそのときのお示ししましたスケジュール、これにのっとって、進めている、というところでございます。現時点では、まだそれぞれの推進委員会、会を開催させていただいております中でありますので、その報告書をいただいて、その報告書を考慮して教育委員会として実施計画を策定していくということになっておりますので、まだそれぞれの推進委員会から報告書をいただいていない段階の今時点では、最終的なことは回答致しかねる、ということでございます。

それから、要望書等の問題でございますが、教育委員会の方にも同様に届いております。県のほうにお持ちいただいた際には、教育長以下責任を持って対応させていただいておりますし、教育委員会あてのものにつきましては、教育委員会の定例会の中で報告しているということでございます。

（飯島委員長）

ありがとうございます。

萩原委員よろしいでしょうか。

（萩原委員）

例えば、県議会に提案した部分と、教育委員会でやれる部分とあると聞いておりますけれども、その辺が一点と。それから定例会で検討する要望書、その他、提案については出しているということですが、それに対しては何か返事とか、そういうことは何かやっているらっしゃるわけですか。ただ聞いているだけでしょうか。

（米澤教育次長）

今、萩原委員さんからのご質問ですが、そのときに直接お会いしたときに、できるだけ私どもの考えをお伝えさせてもらったりしております。

また、この推進委員会のほうに回っていたものについては、皆さんに見ていただいたり、メールなどで来たものについては、お答えもさせてもらったりというようなことで、それはできる範囲のことではさせていただいている経過がございます。定例の教育委員会でも、要望書等を報告させていただいています。教育長あてのものというものもございますので、これらについても同じように対応させていただいております。

（飯島委員長）

よろしいでしょうか。

（萩原委員）

すみません。ありがとうございました。

（飯島委員長）

それでは、以上で今日の委員会を終わりたいと思いますが、次回につきまして事務局お願いします。

（植松主任教育支援主事）

次回の日程につきましてお願いしたいと思います。次回1月の9日、月曜日でございますが、午後に候補としたいと考えております。場所等につきましては、また追って委員の皆さまのほうにご連絡を差し上げたいと思っております。

（飯島委員長）

その後はいかがですか。時期が時期ですから早めにわかればお願いしたいと思います。

（植松主任教育支援主事）

また委員の皆さまともご連絡を取りながら進めていきたいと思います。時間帯など、またご連絡させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

（飯島委員長）

なるべく早めに、委員の皆さんにご都合を聞いて決めていただくほうがよろしいかと思
います。お願いします。

それでは、以上をもちまして今日の委員会を終わらせていただきます。ありがとうございました。